

令和5年度 社会福祉法人寒川町社会福祉協議会事業報告

I 組織の運営強化	備考
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">(1)法人運営事業</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">①役員会・評議員会</div> <p style="margin-top: 10px;">【1 理事会（年5回）の開催】</p> <p>執行機関として事業運営の審議・決定を行い、円滑なる運営に努めるとともに、ガバナンスの強化を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 5 / 24 ◇令和4年度事業報告及び決算報告他 6 / 9 ◇会長及び副会長等の選定について他 10 / 13 ◇社会福祉功労者の顕彰他 1 / 25 ◇規程の一部改正他 3 / 14 ◇令和6年度事業計画及び予算他 <p style="margin-top: 10px;">【任期満了に伴う理事・監事の改選】</p> <p>任期満了に伴う理事・監事（任期2年）の改選を行いました。</p> <p style="margin-top: 10px;">【2 理事の分担による部会運営】</p> <p>『総務部会』</p> <p>法人の運営や財務、人事管理等の協議を行いました。月1回の部会を設けることにより、正副会長と事務局との共通認識を持つことが出来、組織として運営基盤の強化を図ることが出来ました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 4 / 6 ◇令和5年度事務局体制について他 5 / 16 ◇理事会付議案件他 6 / 5 ◇理事会付議案件他 7 / 5 ◇県共同募金会会長感謝候補者の推薦他 8 / 3 ◇ふれあい福祉フェスティバルについて他 9 / 6 ◇赤い羽根共同募金について他 10 / 5 ◇理事会付議案件他 11 / 2 ◇社協福祉大会について他 12 / 7 ◇職員採用募集について他 1 / 11 ◇理事会付議案件他 2 / 6 ◇令和6年度補助金並びに受託金について他 3 / 7 ◇理事会付議案件他 <p style="margin-top: 10px;">『地域福祉部会』</p> <p>広報・福祉教育、住民参加による福祉推進、ボランティアセンター、小地域福祉活動等に関する事業の状況を共有し意見交換をしています。自治会、民生委員、ボランティア、施設、町議会という多方面から選出</p>	<p style="margin-top: 490px;">原則毎月第 1木曜日に 開催</p>

の部会担当理事と状況の共有ができることで、新たな視点や検討事項を得ることができるとともに、情報や助言をいただけて、理事と職員が近い距離で話すことができます。

- 5 / 1 6 ◇部会関連事業の報告と予定、部会の日程他
社協さむかわ178号、令和5年度の広報作成業者他
- 8 / 1 5 ◇部会関連事業の報告と予定、
社協さむかわ179号について他
部会冒頭、ふれあい福祉フェスティバルの企画運営会から渡辺委員長と会計の飛弾委員が出席。
5年ぶりに開催のフェスティバルの周知を進めるため社協さむかわの外側をフェスティバルのチラシでくるむ形で発行して欲しいとの相談。部会理事全員快諾され、今後の準備へのエールをいただきました。
- 11 / 1 4 ◇部会関連事業の報告と予定、社協さむかわ180号について他
- 2 / 1 3 ◇部会関連事業の報告と予定、社協さむかわ181号について他

『生活支援部会』

生活支援相談事業の推進、貸付業務の管理、権利擁護事業の推進管理、在宅福祉サービス事業の管理、地域包括支援センター業務の管理が主な職務の部会です。加えて、毎年の年末たすけあい募金の配分をどのように行うか検討し、配分計画を作成しています。

- 9 / 5 ◇生活支援事業の状況について、令和5年度
年末たすけあい募金配分について他
- 1 / 2 5 ◇令和6年度 年末たすけあい募金配分について他

【3 監事による監査(年2回)の開催】

業務執行や法人の財産状況について監査を行いました。

- 5 / 1 8 ◇令和4年度事業報告及び決算報告他
- 11 / 2 4 ◇令和5年度4月～9月会計及び業務執行の状況、監査他

【4 評議員会(年2回)の開催】

議決機関として理事の選任及び事業計画や予算等重要な事項の審議・決定のため、2回開催しました。

- 6 / 9 ◇令和4年度事業報告及び決算報告他
- 3 / 2 2 ◇令和6年度事業計画及び予算他

【5 評議員選任・解任委員会の開催】

理事会から評議員選任候補者の推薦を受け、評議員の選任を行いました。

6 / 8 ◇評議員の選任について<書面決議>

【学識経験者選考委員会の開催】

任期満了に伴い理事及び監事の学識経験者の選考を行いました。

5 / 1 1 ◇任期満了に伴う学識経験者の選考について

② 事務局運営事業

【6 事務局の経理・総務・庶務等】

県指導監査

社会福祉法第56条の規定に基づく、令和元年度から監査実施日までの法人運営状況監査を受けました。

1 0 / 1 7 ◇実地監査

職員の採用

正規職員の採用を行いました。

1 / 3 0 ◇社会福祉協議会正規職員採用試験(筆記、面接)

応募者 6 名 採用 2 名

【7 各種委員会の開催】

40周年特別委員会

令和6年度に法人設立40周年を迎えるにあたり、「長期ビジョン」の作成並びに40周年式典の内容検討等を行いました。

9 / 2 9 ◇式典の内容及び長期ビジョンについて

1 2 / 4 ◇式典内容及び記念冊子等について

1 / 1 5 ◇式典及びマスコットキャラクター等について

2 / 2 1 ◇式典及び長期ビジョン「スローガン」等について

3 / 1 4 ◇式典について

再建特別委員会

9 / 2 5 ◇健康管理センターの老朽化に伴う、社協としてのソフト面での課題整理等

災害時対策特別委員会

平時における防災計画並びに災害時、特に大規模災害発生時における体制整備のため、「緊急事態に対する事業継続計画（BCP）」の策定に取り組むべく協議を行いました。

9 / 2 5 ◇BCP策定における協議①

1 / 2 2 ◇BCP策定における協議②

【8 苦情解決制度第三者委員の開催】

利用者からの苦情に対し、解決に向けた取り組みが出来るよう、第三者委員会を設置しました。

福祉サービス利用者等の権利擁護窓口

4 / 1 ◇第三者委員の設置3名

【9 各種事業、組織の見直し、あり方検討】

各種事業、組織の見直し、あり方検討について必要に応じて開催
毎月1回、職員幹部会の開催。

③ 法人運営強化事業

【10 一般会員の募集・加入促進(一般世帯等)】

自治会の協力を得ながら、一般会員会費納入の依頼と取りまとめを行い、事業を行う上での財源を確保しました。

自治会の協力による一般会員会費取りまとめ

4 / 1 ~ 6 / 2 6 ◇職員が自治会の定例役員会等に出向き、会費納入依頼

4 / 2 1 ◇各自治会に会費納入を依頼

(13,234世帯、9,536口、4,767,526円)

自治会未加入者に対し、広報さむかわに会員募集を掲載

<昨年度>

13,234世帯

9,889口

4,941,502円

【11 賛助会員の募集・加入促進(事業所・団体等)】

企業・団体等に賛助会員会費の納入を依頼しました。

6 / 9 ◇企業、団体等へ依頼

(151企業、27団体、26個人 1,043,000円)

9 / 1 4 ◇未納入企業へ再納入依頼(44企業、3団体)

9 / 1 6 ◇11/16~再納入依頼でも未納入企業(町内)に対し
会長と訪問

<昨年度>

189社

930,000円

【12 ITC及び個人情報のセキュリティ強化】

セキュリティルームでの情報管理。

ホームページのリニューアル完了し、運用を始める。

定期的な共有パソコンのデータバックアップを行う。

【13 平時における災害時対応の強化】

上述、災害時対策特別委員会で記載済み。

II 地域福祉推進事業	
(1) 福祉啓発・教育事業	
① 社協活動PR事業	
<p>【14 ホームページによる情報発信】</p> <p>事業紹介やボランティア情報等随時更新し、情報提供を行いました。 社協情報、地域情報の提供</p> <p>随 時 ◇行事・事業案内、ボランティア募集情報、 災害情報、SNS（X随時更新） 令和5年度表示回数 21,808回</p> <p>【15 XなどSNSによる情報発信】</p> <p>XとLINEを活用してボランティアセンター情報の発信を随時 行いました。</p> <p>Xとホームページの更新は地域福祉、ボランティアセンター共に 複数の職員による更新を可能とし、各事業の案内他発信し情報提供に努めました。</p> <p>【16 メディアを活用した情報発信】</p> <p>湘南さむかわラジオにて、毎月1回、社協のPRの枠あり。 事前に内容を録音し録音データをメールで送信。 タウンニュースへの掲載依頼（随時） 町広報にて社協関係団体の紹介記事を掲載。</p>	
② 広報紙発行事業	
<p>【17 広報紙「社協さむかわ」の発行】</p> <p>発行月は4月、7月、10月、1月。 発行形態は、全8ページでフルカラー仕上げ。 10月号は、第14回寒川町ふれあい福祉フェスティバルのチラシを広報紙 に巻き付ける形で全12ページフルカラー仕上げ。 1月号は福祉作文掲載のため全12ページでフルカラー仕上げ。</p> <p>178号：21,600部発行 179号～180号：21,500部発行 181号：21,600部発行</p> <p>思いやりや支え合いの啓発、身近で役立つ福祉情報の発信を行うと共に、 紙面を通して社協の理解促進に繋がりました。</p> <p>7 / 1 ◇第178号＝町社協の団体登録、令和4年度賛助会員会 費納入者、催し物・相談等のご案内、令和4年度事業 報告と決算、令和5年度事業計画と予算、もっと身近 に町社協⑦生活支援コーディネーター(町事業受託)、 あたたかい気持ち、善意のこころ事業のご報告とお願い</p>	

い、ボランティアセンターだより、地域包括支援センターだより、町社協は協議体⑦社会福祉施設等(障がい)他

10 / 1 ◇第179号=第14回寒川町ふれあい福祉フェスティバル、ボランティア学びあい講座、町社協権利擁護事業、共同募金運動、町社協福祉大会、催し物・相談等のご案内、介護に関する入門的研修、もっと身近に町社協⑧第14回寒川町ふれあい福祉フェスティバル企画運営委員会、あたたかい気持ち、一般会員費納入のお礼、町社協は協議体⑧社会福祉施設等(高齢)、ボランティアセンターだより、地域包括支援センターだより、障害者週間他。

1 / 1 ◇第180号=寒川町ふれあい福祉フェスティバルの報告、寒川町の団体・個人の受賞報告、介護に関する入門的研修、会長新年の挨拶、あたたかい気持ち、町社協は協議体⑨社会福祉に関心を持つ団体、第40回寒川町社会福祉協議会福祉大会開催報告、成年後見講座開催報告、催し物・相談等のご案内、福祉作文、ボランティアセンターだより、地域包括支援センターだより、もっと身近に町社協⑨車いすの貸し出し

4 / 1 ◇第181号=町社協法人設立40周年記念シンボルマーク募集、イベント・講座スケジュール、催し物・相談等のご案内、あたたかい気持ち、会員加入と会費ご協力のお願い、介護に関する入門的研修開催報告、共同募金運動の結果とお礼、町社協は協議体⑩社会福祉に関係ある団体、ボランティアセンターだより、地域包括支援センターだより、もっと身近に町社協⑩毎月11日～イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン～、被災地支援報告

③ 福祉大会事業

【18第40回福祉大会】(健康管理センター)
 地域福祉の発展に永年貢献された方々の功績を讃え、その経験と知識を今後の地域福祉の推進に活かす契機とし、今年度は3年ぶりに人数制限を解除し、盛大に実施することが出来ました。また、508編の福祉作文応募編数の中から優秀作文の発表を行い、福祉作文審査会委員長に総評をいた

<昨年度>
 83名

⑤ 産業まつり出店事業

【2 1 第39回寒川町産業まつり出店】（さむかわ中央公園）
産業関係のまつりとするとのことで出店しませんでした。

<昨年度>
中止

⑥ 福祉教育事業

【2 2 小中学校福祉協力校の連携による福祉の学び取り組み支援】

各学校への助成と併せて取り組まれる福祉教育活動への協力・調整も行い、次世代を担う児童・生徒の福祉の心、思いやりやたすけあいの心を育みました。

取り組みの際には各学校と複数回の打ち合わせにより、学校の取組み意識を確認し、目標を設定しました。

<昨年度>
町内全8校

◇寒川小学校4年生

- 9 / 1 2 点字体験
- 9 / 2 7 ユニバーサルデザインダンス
- 1 0 / 2 3 車いす指導（教員対象）
- 1 1 / 1 7 耳の不自由な方のお話、手話体験

◇一之宮小学校4学年

- 7 / 1 0 車いす指導（教員対象）
- 8 / 2 8 高齢者疑似体験（教員対象）
- 1 0 / 3 0 高齢者の話 講師：湘風園
打合せ実施後、感染症による学年閉鎖で中止
- 1 1 / 8 ユニバーサルデザインダンス
- 1 1 / 1 5 目の不自由な方のお話

◇旭小学校4学年

- 2 / 1 耳の不自由な方のお話、手話体験
打合せ実施後、感染症による学年閉鎖で中止となるが、質疑応答形式で実施

◇小谷小学校4学年

- 7 / 3 車いす指導（教員対象）
- 7 / 1 1 点字体験
- 9 / 2 9 目の不自由な方のお話
- 1 1 / 2 4 耳の不自由な方のお話、手話体験

◇南小学校5学年

- 12 / 7 車いす体験
- 1 / 18 ローリングバレーボール
- 1 / 31 ユニバーサルデザインダンス

◇寒川中学校 1年生、7組

- 1 / 26 多様性のある社会に向けて～LGBTQ講演会～
講師を招いての講演会
講師：NPO法人SHIP 星野慎二氏

◇旭が丘中学校

- 3 / 6 様々な生きづらさや悩みを抱える生徒の安心につながるよう、多様性についての書籍を購入し図書室へ置き、気になった生徒達がいつでも手に取ることができるようにした。見やすく配置し、書籍の紹介を行った。

◇寒川東中学校

- 1 / 24 2年総合 いのちの授業（保護者の参観可で実施）
講師：湘南助産師会 岡橋氏ほか

【23地域における福祉体験の場づくり(地域講座)】

地域において福祉に関する講座、福祉の普及啓発と社協PRを行いました。

- 4 / 11 ◇田端高砂会 介護保険、社協について
- 5 / 1 ◇岡田すいせんサロン 介護保険、社協、体操
- 6 / 14 ◇南部民協研修「社協の貸付事業について」
- 7 / 31 ◇子ども向けボランティア体験講座（車いす体験）
- 9 / 26 ◇民協障がい者部会 車いす体験
- 10 / 11 ◇中部民協研修「社協について」
- 1 / 22 ◇寒川総合図書館職員向け 高齢者疑似体験
- 2 / 17 ◇商工会青年部 車いす指導

【高齢者スマホ教室】

他団体※が高齢者向けのスマホ教室を複数回、開催していることが分かり、さらに本会が開催する必要性は無いと判断しました。地域福祉部会で状況をご報告し、開催しない方向性を決めました。

※町民協働課、シルバー人材センター、自治会単位等

【介護に関する入門的研修】

県社協より受託し、町内介護人材の確保を目的に研修を開催しました。

<p>講師は全て寒川町内の事業所に依頼し、社会福祉法人の連携にもつながりました。アンケート結果から、受講者の満足度は非常に高いです。</p> <p>12/16 ◇基礎講座（3時間30分） 受講者39名 講師：寒川ホーム副施設長 今村 真 氏 他</p> <p>2/3、4、 17、18 ◇入門講座（4日間・計23時間） 受講者13名 講師：寒川ホーム副施設長 今村 真 氏 他 さむかわ基幹相談支援センター 小松 美穂 氏 寒川町認知症地域支援推進員 桜井 愛美 氏 寒川町社会福祉協議会 浅野 瑠水 他</p>	<p><昨年度> 66名</p> <p><昨年度> 12名</p>
--	---

⑦ 福祉作文事業

<p>【24福祉作文募集、審査会、福祉作文集作成】</p> <p>福祉について考えるきっかけづくりとして小・中学校を対象に福祉作文の募集を行ったところ、508編の応募がありました。</p> <p>作文の内容には本会で取り組んでいる福祉体験（福祉を育む学び）に関連したものも多く、子どもの頃から福祉に触れる、体験する、考える、またそれを表現する機会として福祉作文が役割を果たしています。</p> <p>優秀作文は福祉作文集としてまとめ、福祉大会来場者全員に配布、また健康管理センターで作文集を配架し福祉作文の紹介の掲示物とあわせて来館者向けに周知することによって多くの方に福祉作文集を知っていただけるよう努めています。</p> <p>5月 ◇教頭会で挨拶および今後の依頼を周知 6月 ◇各小・中学校へ依頼 9月 ◇各小・中学校からの応募受付 応募総数 508編 小学生 211編、中学生 297編 ◇本会職員による1次審査 9/7～9/13 審査委員による2次審査 9/14～9/20 ◇福祉作文審査会（9/25）＝優秀作文、福祉大会発表及び広報誌掲載作文2編と県福祉作文コンクール地区審査用作文を小学生の部より3編、中学生の部より5編選定。 ◇県福祉作文コンクールへ8編応募 【小学生の部】 最優秀賞 tvkかながわMIRAI賞 1名</p>	<p><昨年度> 小学生 274編、 中学生 365編 応募総数 639編</p>
---	---

準優秀賞 2名

【中学生の部】

最優秀賞 神奈川県教育長賞 1名

最優秀賞 日本放送協会横浜放送局長賞 1名

優秀賞 1名

計6名受賞

◇福祉作文集（優秀作文）の作成 400部

福祉大会での配布、以降は健康管理センターで配架。

12月 ◇福祉大会にて審査会で選ばれた児童・生徒の作文発表
当日欠席予定の場合は、事前にビデオ撮影を行った。

◇応募者へ記念品を配布。

【25大人の福祉作文】

今年も作文と川柳を募集しましたが、昨年につき、応募数も少なく、今年度までの取り組みとすることとしました。地域福祉部会で発案された事業であったため、地域福祉部会に状況を報告し、方向性を決めた。

10月 ◇社協さむかわにて募集記事掲載

◇応募総数 川柳2句

<昨年度>

作文1編、川柳2句

⑧ 専門職人材育成事業

【26社会福祉士養成のための相談援助実習受け入れ】

社会福祉士を志す学生の相談援助実習を受け入れいることで福祉人材の育成に貢献。

原則、24日間、180時間以上の受け入れ。

8/4～ ◇関東学院大学3年 2名

◇昭和女子大学3年 1名

◇立教大学3年 1名

<昨年度>

2名

【27職員の研修への参加】

県社協や行政等からの研修案内を受け、各担当ごと必要に応じ研修を受講している。

6/～ ◇日常生活自立支援事業初任者・現任者研修
動画視聴 生活支援員の役割について

2/9 ◇第2回子育て関連施設・障がい者相談支援事業所合同ワークショップ

2/19 ◇令和5年度市町村社協職員会研修会

フロント…色づかい…お悩み解決Q&A効果的なチラシの作り方

◇日常生活自立支援事業管理監督者研修・現任者研修（動画）

2/29～3/6 ◇令和5年度意思決定支援研修（動画）

「意思決定支援を踏まえた後見事務のガイドライン」を学ぶ
 3/5 ◇オンラインde 福祉教育（ZOOM）
 ～全国の福祉教育推進員が集まって、福祉教育の学び×出会いを広げよう～

(2) 地域福祉活動事業

① 地域共生社会推進事業

【28 自治会・民生委員児童委員・シニアクラブ連合会・学校・地域団体・町内企業等との連携、情報交換、課題把握等】

団体の定例会等への参加や学校での福祉を育む学び、地域団体との情報交換、賛助会員企業や寄付を通じての企業とのつながり等、接点のあるごとに、本会の取り組みのご説明や協力依頼等、連携を図りました。

また、新たに「地域福祉活動推進団体登録制度」を開始しました。今後の社協のネットワーク拡大と事業での連携等につなげていきます。

- 自治会：寒川町自治会長連絡協議会定例会において、会費や募金のご依頼、講座のチラシ回覧のご依頼等。
- 民生委員児童委員：寒川町民生委員児童委員協議会役員会、定例会、地区民協に、毎月、職員が参加させていただき連携強化を図った。社協事業の説明や協力のご依頼。貸付業務におけるおいて借受者の地区担当民生委員と情報共有、見守り活動のご依頼等。
- シニアクラブ連合会：会長会、健康体操、単位クラブに伺ってのご説明や情報共有等。また高齢者向けの取り組みの協力依頼の相談も複数あり。
- 学校：福祉を育む学びのために教職員やサポーターとの情報共有、協力等。教頭会へ出向き社協事業の説明報告。
- 町内企業等：ご寄付を地域へつなぐ、企業で認知症サポーター養成講座を受講して下さる等。
- 寒川町議会：地域福祉部会ほか寒川町福祉団体協議会からの情報提供等。
- 企業：湘南ユナイテッドBCとのコラボ企画

2/17 寒川のホームゲームにあわせて開催された車いすバスケットボール体験会への参加者の呼びかけ。あわせて試合会場では、共同募金のイベント募金を茅ヶ崎市支会と合同で実施。当日まで対面での打合せ2回、その他は全てメール、電話等で。広報紙「社協さむかわ」に掲載。

【29 地域福祉フォーラムの開催】

地域の福祉的課題に取り組む人材を育成することで、誰もが住み慣れた地域で安心して生活することができる、つながりある地域づくりの推進に資することを目的に開催しています。

住民パワーを広げよう！つなげよう！をテーマに企画しましたが、参加申し込みがなく、流会となりました。

3/3 ◇ 流会

<昨年度>
 中止

【30 寒川町福祉団体協議会等の活動支援等】

障がい当事者団体である寒川町福祉団体協議会の活動支援を行いました。
また、町補助金の支援を受けるための書類の確認や町福祉課職員との対応、
連絡調整を行いました。詳細は関係団体事務事業報告に記載。

【31 町内社会福祉法人等の連携】

社会福祉法人との連携による地域事業を行いました。
介護に関する入門的研修の講師を依頼し、法人との連携を図りました。
(詳細は上記)

- 3 / 19 ◇寒川町地域社会福祉ネットワーク連絡会発足
第1回会議として、役員選出、今度の取り組みに
ついて意見交換を行いました。
構成団体：吉祥会、千寿会、湘南広域社会福祉協会、
および本会

② 生活支援コーディネーター事業

【32 生活支援コーディネーター活動周知】

- 毎月1回 ◇岡田もくせいハイツ自治会 組長会議 参加
毎月1回 ◇県営寒川もくせいハイツ第二自治会 定例幹事会 参加
毎月1回 ◇寒川町民生委員児童委員協議会定例会 参加
毎月1回 ◇本会ボランティアセンター打合せ 参加
随時 ◇寒川町シニアクラブ連合会の会合、研修等 参加
随時 ◇小地域福祉活動等の通いの場など 参加
随時 ◇PRできる場面があれば活動周知
10 / 31 ◇ボランティア学びあい講座で「地域を支える力」
というテーマで、生活支援コーディネーターの
活動、役割を紹介。
随時 ◇各種社協事業の運営の中で活動周知について
の視点をふまえている。

【33 社会資源開発業務】

- 毎月1回 ◇岡田もくせいハイツ自治会 組長会議 参加
毎月1回 ◇県営寒川もくせいハイツ第二自治会 定例幹事会 参加
毎月1回 ◇寒川町民生委員児童委員協議会定例会 参加
毎月1回 ◇本会ボランティアセンター打合せ 参加
偶数月 ◇地域ケア会議（個別会議）参加
随時 ◇一体的実施 担当者会議 参加
随時 ◇各種社協事業の運営の中で社会資源開発業務について

の視点をふまえている。

- 11/～ ◇岡田すいせんサロン、岡田笑和会
参加希望者の中で足腰が弱り徒歩で集会所に来れなくなった人への車での送迎を準備中。
岡田在住の住民から4名、協力可能の声あり。
仕組みづくりをする。
- 11/ 1 ◇運営メンバーと話し合い
- 12/ 1 ◇送迎の方法のたたき台を共有
- 1 / 27 ◇岡田東自治会、岡田西自治会で送迎の協力を相談
まずは、岡田すいせんサロン、岡田笑和会に参加してもらって、活動内容を知ってもらい、参加者との顔つなぎをすることから始めることになった。

【34 ネットワークの構築業務】

- 毎月1回 ◇岡田もくせいハイツ自治会 組長会議 参加
- 毎月1回 ◇県営寒川もくせいハイツ第二自治会 定例幹事会 参加
- 毎月1回 ◇寒川町民生委員児童委員協議会定例会 参加
- 毎月1回 ◇本会ボランティアセンター打合せ 参加
- 偶数月 ◇地域ケア会議（個別会議）参加
- 随時 ◇一体的実施 担当者会議 参加
- 随時 ◇チームオレンジ連絡会 参加
- 随時 ◇各種社協事業の運営の中でネットワーク構築業務
についての視点をふまえている。

【35 コーディネート業務】

- 随時 ◇窓口、電話等で随時対応
- 毎月1回 ◇本会ボランティアセンター打合せ 参加
- 随時 ◇各種社協事業の運営の中でコーディネート業務
についての視点をふまえている。

【36 介護予防を兼ねた地域交流事業支援】

- (月)～(金) ◇身近な公園で軽く体操しませんか
- 雨天時および祝日はお休み
- 7月、8月 夏休み 町内に40ヶ所以上の公園があるが、5ヶ所の公園に
を設定して、気軽な体操の場づくり
- 1月、2月 冬休み 月曜日：さいど公園（倉見）参加者5～10名
火曜日：信玄芝原公園（宮山）参加者3～7名
水曜日：越公園（岡田）参加者10～25名
木曜日：一之宮公園（一之宮）参加者15名～25名
金曜日：矢島公園（田端）参加者5名～10名

時間は9時～9時30分 雨天中止
ラジオ体操第1第2、さむかわwakuwaku体操

月1回 ◇寒川もくせいハイツ シニアお気楽体操
介護予防講師派遣事業を利用
寒川もくせいハイツ内 第1集会所にて

月1回 ◇ご近所さんで集まって シニアお気楽体操
介護予防講師派遣事業を利用
寒川キリスト教会にて

【寒川町生活支援・介護予防サービス基盤整備推進会議】

3/14～ ◇第1回 寒川町生活支援・介護予防サービス
基盤整備推進会議 書面開催
今年度の活動状況報告と次年度の予定等

③ 小地域福祉活動事業

【37地域福祉推進を目的とした、集いの場活動支援】

自治会におけるサロンや見守り、交流の場づくりなどの福祉活動に対し、運営の相談や助成金の交付等を実施したことで、地域での支え合いが促進され、住民が安心して暮らせる福祉コミュニティづくりを進めることが出来ました。

◇活動助成 = (13地域14自治会 助成額630,000円)
田端、一之宮北、一之宮ソフィア、中瀬、大曲、
岡田東・西、越の山、菅谷台、大蔵、小谷、
新橋アパート、小動、倉見

日ごろの活動に協力しました。

【小谷パールクラブ】

映画会の上映のお手伝い。機材貸し出しを含む。

5/18、8/17、11/16、1/18 全4回

【新町新生会】

映画会のための機材貸し出し

6/20、8/29、10/23、11/28、
3/18 全5回

【岡田笑和会】

映画会の上映のお手伝い。機材貸し出しを含む。

11/15 1回

【岡田笑和会】

<昨年度>

13地域
14自治会
690,000円

映画会の上映のお手伝い。機材貸し出しを含む。

11/15 1回

【ゆめクラブ大曲】

映画会の段取りのご相談

上映は3/25 1回

全4回 ◇さむかわクリーナーズ※の活動支援

※生活保護受給世帯による地域貢献活動。町内の

ゴミ拾い等、美化活動を中心に行っている。

集合・解散・情報交換用の部屋、ゴミ拾い用のトング、

ユニフォーム（ビブス）貸し出し等。

町健康づくり課の保健師による健康相談も同時に実施

【38地域福祉推進を目的とした、集いの場立ち上げ支援】

【興全寺 夏の自習室】

子どもたちが夏休みの宿題ができる場所をつくる。お寺の部屋をお借りして、自習できる環境を用意していただきました。

全4回 ◇対面での打合せ

メンバーは、興全寺、個人2名、社協

随時 ◇LINEでの打合せ

8/5、6、◇自習室を開放、開放時間中はメンバー数名待機

20、28

④ サロン事業

【39ふれあい・いきいきサロンの開催】

ボランティアの協力を得ながら、遊びや学びの場の提供を行いました。

月1回開催している子育てサロンは、季節に合わせた遊びを中心に歌や読み聞かせや手遊びを織り交ぜてプログラムを考えています。

障がい児者サロンは、春と秋の年2回、ボウリングやビンゴ、工作など障害のある方が家族やボランティアと一緒に楽しめる内容を企画しています。

・子育てサロン（2～3才児対象の親子向けのサロン。体操、歌、手遊び、工作など。親子同士の交流と仲間づくり。）

4/12 ◇手形・こいのぼり工作

ボランティア 11名

利用者 8組 17人

5/17 ◇ミニ運動会

ボランティア 13名

利用者 12組 26人

6/21 ◇七夕飾り作り

<昨年度>

利用者 7組

ボラ 10名

利用者 12組

ボラ 8名

利用者 8組

	ボランティア 12名	利用者 10組 20人	ボラ 10名
7/12	◇小麦ねんどあそび		利用者 8組
	ボランティア 9名	利用者 11組 25人	ボラ 9名
8/16	◇夏祭りあそび		利用者 10組
	ボランティア 10名	利用者 10組 27人	ボラ 8名
	※社会福祉士実習生 4名参加		
9/27	◇運動会		利用者 8組
	ボランティア 11名	利用者 11組 29人	ボラ 11名
10/18	◇交通安全とハロウィンあそび		利用者 12組
	ボランティア 12名	利用者 10組 23人	ボラ 9名
11/22	◇人形劇とリトミック		利用者 13組
	ボランティア 12名	利用者 11組 22人	ボラ 9名
12/20	◇クリスマス会		利用者 26組
	ボランティア 14名	利用者 21組 58人	ボラ 11名
1/17	◇お正月あそび		利用者 9組
	ボランティア 12名	利用者 20組 43人	ボラ 11名
2/14	◇豆まきとひな飾りづくり		利用者 13組
	ボランティア 8名	利用者 16組 32人	ボラ 13名
3/14	◇思い出作品づくりと修了式		利用者 15組
	ボランティア 9名	利用者 14組 30人	ボラ 14名
	利用者のべ 154組 352人		
	ボランティアのべ 133名		
	・障がい児者サロン(障がいのある方とその家族対象のサロン)		<昨年度>
6/11	◇春・ポッチャ体験会		
	障がい児者・家族 14名		12名
	ボランティア 6名		4名
11/12	◇秋・ボウリング大会		
	障がい児者・家族 23名		24名
	ボランティア 5名		6名
⑤ 地域活動応援事業			
【40 募金関係活動費の交付】			<昨年度>
各自治会の共同募金活動にあたり、活動費を交付しました。			283,700円
10/2	◇各自治会(21自治会)へ交付 (昨年度募金実績額×5%)		(昨年度募金
	273,800円		実績額×5%)
【41 地域福祉推進に取り組む団体、活動に対する助成】			

地域福祉推進のため住民の主体的な福祉活動に対して、活動経費を助成することで活動を支援しました。		
地域福祉活動推進のための活動経費助成金		
●住民による主体的な地域福祉推進のための活動 ボランティアグループ等へ	◇13団体へ 合計590,000円を交付	<昨年度> 14団体 602,000円
●自治会による福祉活動 自治会による小地域福祉活動へ	◇14自治会へ 合計630,000円を交付	<昨年度> 14自治会 690,000円
●町内小中学校による福祉活動 福祉を育む学びのために町内の全小中学校へ	◇町内全小中学校へ 合計157,710円を交付 (20,000円×7校、17,710円×1校) ※各学校とも繰越金が発生しないよう、残金返金や必要経費のみの助成金申請等、対応くださる。	<昨年度> 6校 133,000円
●障がい者等の当事者団体による福祉活動 寒川町福祉団体協議会の4団体および障がい者スポーツの団体へ	◇4団体へ 合計100,000円を交付	<昨年度> 4団体 72,000円
【4 2 食品等の寄付を通じた地域活動支援】		
10/～	◇ご寄付のキャンディーを町内の子ども食堂4ヶ所へ	
随時	◇食品のご寄付 138件	
随時	◇県内セブンイレブンの閉店店舗から2回(県社協事業)	
随時	◇神奈川県社会福祉協会協議会から2回	
年1～2回	◇町環境課がニコニコリサイクルフリーマーケットの会場でフードドライブを実施。集まった食品を町社協へ	
随時	◇オムツ、衣類等のご寄付 31件 随時のご寄付による食品や日用品は、フードバンクさむかわで活用させていただいた。	
毎月	◇第1土曜日 フードバンクさむかわ 毎回100世帯分の米(2kgの袋)を購入 (年末たすけあい募金の配分) その他、上記、随時のご寄付による食品を配布。 運営は毎回10名前後のボランティアの協力で。 令和5年7月から受付で来所した世帯員全員の氏名を	

記入してもらうようにした。

◇フードバンクさむかわ、子ども食堂を指定で
金員のご寄付あり。

【4 3 各種関係団体等の事業後援】（県社協関係を除く）

各種関係団体等より依頼を受け、本会の名義使用による後援を行いました。

<昨年度>

10件

全 1 4 件

- 4/11～5/25 ◇寒川町手をつなぐ育成会主催「成年後見制度」についての研修会
- 4/18～6/11 ◇第46回住宅デー
- 5/31～7/14 ◇2023年度 第1回寒川町障害者事業所展示即売会「にっこりマーケット」
- 11/23 ◇令和5年度 里親講座（湘南地区）
- 12/15 ◇らららライブ2023
- 10/22 ◇どーんと楽しく！フェスタ翔2023
- 1/26～27 ◇「スペシャルズ！～政府が潰そうとした自閉症ケア施設を守った男たちの実話～」上映会
- 12/5～8 ◇2023年度 第2回寒川町障害者事業所展示即売会「にっこりマーケット」
- 12/13 ◇県精連 体験発表会ハートメッセージ2023 in 茅ヶ崎
- 2/14～19 ◇第25回 翔の会表現展「湘南地アート “にこっ！”」
- 2/17 ◇寒川町手をつなぐ育成会主催「ボウリング大会」
- 5/25 ◇寒川町福祉活動センターまつり
- 6/15 ◇社会福祉法人 翔の会後援会チャリティー映画会
- 3/25 ◇第47回住宅デー

【4 4 物品の貸出及びメンテナンス】

福祉活動に役立てるための備品を団体等に貸し出し、福祉の推進を図りました。

<昨年度>

31件

随 時

◇110件

<貸出物品>車いす、ビデオプロジェクター
一式、テント（大・小）、スクリーン、DVD
プレーヤー、ポップコーン機、音響機材、募
金箱、延長コード他

【4 5 印刷機の利用】

印刷機利用料収入

合計 269,269円

<昨年度>

235,667円

⑥ 善意のこころ事業

【4 6 寄附金品の受け入れ及び事業活用】

団体、個人の方からの寄附金品を受け入れ、各種事業に活用しました。

<昨年度>

金員21件

1,444,493円

随 時

◇金員 20件 計1,122,696円

物品9件

随 時	◇在宅寝たきり高齢者 81名 229件	
⑥ り災者援護事業		
【5 9 災害見舞金の支給】	(見舞金は県共同募金会と折半) 火災など災害に遭われた方に対して見舞金を支給しました。	<昨年度> 0件
随 時	◇2件	
⑦ 年末たすけあい配分金事業		
【6 0 年末たすけあい募金の配分】 共同募金会が行った年末たすけあい募金を各種支援事業として配分しました。配分方法の決定は生活支援部会で協議、理事会で決定しました。		
【今年度の配分先】※配分は全て寒川町の住民へ		
●町内障がい児者紙おむつ代助成		
●町内障がい当事者団体への行事支援		
●ひとり親家庭等へ お米を配布		
9 / 5	◇生活支援部会にて、令和5年度の年末たすけあい募金の配分計画について確認	
9 / 15	◇自治連にて、共同募金運動・年末たすけあい募金のご協力依頼	
10 / 5	◇総務部会にて 令和5年度年末たすけあい募金配分計画を確認し、理事会案件として決定	
10 / 13	◇理事会にて 令和5年度年末たすけあい募金配分計画を確認	
12月～	◇順次、配分を開始 予定	<昨年度>
	●町内障がい児者紙おむつ代助成	430,355円
	●町内障がい当事者団体への行事支援 (寒川町福祉団体協議会へ)	178,900円
	●ひとり親家庭等へ お米を配布	1,005,617円
	●地域福祉推進事業	1,175,360円
1 / 19	◇自治連にて年末たすけあい募金の結果とお礼	
1 / 25	◇生活支援部会にて 令和6年度年末たすけあい募金配分についてご提案	
3 / 14	◇理事会にて令和6年度年末たすけあい募金配分の方向性について承認	

⑧ 生活福祉資金貸付事業

【6 1 生活福祉資金の相談・貸付】

生活福祉資金は、低所得者、障がい者または高齢者に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、その経済的自立及び生活意欲の助長促進、並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることが目的の資金です。

最近では、令和2年3月～令和4年9月まで、コロナ禍の生活費の貸付が特例貸付として実施され、現在は償還（返済）の段階になっています。当初、償還については専用の窓口が対応するため、市町村社協は対応不要でしたが、変更され、「特例貸付フォローアップ支援」として、市町村社協が対応することになり、そのための委託費も交付されます。

また、コロナ特例貸付が、「コロナの影響で減収」という状況が聞き取れれば速やかに借入申し込みができたため、その感覚のままに、「生活費を借りたい」という相談が継続的にあり、最近は、「スマホで調べました」「厚生労働省のホームページを見ました」「Youtubeで見ました。〇〇資金を申し込みたいです」と、具体的に相談される方も多いです。しかし、多くは、債務が多額であったり、お金の使い方に問題があったり、金銭感覚と実際の収入の不釣り合いがあったりと、「貸付で解決」という相談者はほとんどありません。生活困窮者自立相談支援機関である「ほっとステーション（神奈川県社協）」を紹介することが増えています。また、お金のやりくり、金銭管理の問題という視点から、「日常生活自立支援事業でお金の管理をして欲しい」という関係者からの相談も増えています。

●特例貸付フォローアップ支援 相談件数 152件

●通常貸付（本則）貸付決定件数 13件

福祉資金のうち生活保護受給世帯のエアコン等の設置費用の貸付 8件

福祉資金のうち緊急小口資金 3件

教育支援資金 2件（高校進学1件、大学（通信）進学1件）

電話、来所、訪問等全ての相談対応件数 1427件※

※下記、【6 2 生活困窮者自立支援事業に係る県社協等との相談・連携】

【6 3 緊急援護資金の相談・貸付】の件数も含む。

【6 2 生活困窮者自立支援事業に係る県社協等との相談・連携】

コロナ特例貸付

令和4年9月末時点

借入申込み総件数

1,346件

借入申込み総額

5億1,257万円

<昨年度>

貸付19件

県社協が実施している神奈川県生活困窮者自立相談支援事業「ほっとステーション」へ相談者との面接において相談室貸出しの調整、情報共有、ケースの内容によっては貸付相談の対応等を行いました。

【町事業 生理用品の無償配布への協力】

令和3年8月開始の町事業に継続的に対応しています。

配布個数の記録、品物の封入作業、在庫の保管等を行っています。

⑨ 緊急援護資金貸付事業

【63 緊急援護資金の相談・貸付】

一時的に生活費に困窮している世帯へ、資金の貸し付けと相談支援を行い世帯の自立を促進しました。

貸付件数の大半は、生活保護の申請後の初回支給日までの生活費の貸付で、その場合は生活保護の担当ケースワーカーから意見書が提出され、生活保護の初回支給日に同席し一括で返済してもらいます。

また償還指導として、滞納世帯への家庭訪問や督促状の発送等を行い、世帯の状況把握、相談支援を行いました。

随時 ◇貸付 25件

◇過去からの債権で年度末の理事会での償還免除4件
(理由：借受人死亡、借受人行方不明)

<昨年度>
貸付19件

(4) あんしんサービス事業（権利擁護事業）

① 日常生活自立支援事業

【64 日常生活に向けた相談・支援、サービス提供等】

サービス提供・訪問活動

安心して自立した生活を送れるよう、利用者との契約に基づき専門員及び生活支援員による福祉サービス利用援助、金銭管理等の支援を行いました。

随時 ◇利用者 今年度契約者 21名

今年度内の解約者 5名

3月末時点契約者16名

3月末時点の内訳

認知症等高齢者等9名

知的障害者等0名

精神障害者等6名

身体障害者0名

その他1名

<昨年度>
3月末利用者
18名

◇定期支援回数 224回

定期支援回数
233回

◇定期支援以外の臨時支援、相談援助、新規相談等
771回（訪問、電話、メール、来所等）

担当者会議

新規契約、支援計画変更、契約終了、契約更新等の際に、必要に応じて
随時開催する形をとりました。

また、日常生活自立支援事業だけでなく、法人後見事業に関わる内容に
ついて、必要に応じ会議の中で共有、協議しました。

事務局長、担当職員、専門員1名の計3名で行いました。

県社協 契約締結審査会

上記、担当者会議において、県社協での審査・助言等を必要とするケース
と判断したものについては、専門員が県社協へ出向き審査会に出席・説明
しました。

日常生活自立支援事業実施社協連絡会へ出席

県内の社協間で事業の取り組み状況の共有と報告、意見交換等のため開催
される実施社協連絡会に出席しました。

【65生活支援員情報交換会の開催】

今年度は開催しませんでした。

◇生活支援員情報交換会

<昨年度>
1回（対面）

② 法人後見事業

【66法人後見の受任業務】

法人として成年後見人等を受任し、権利擁護の推進を図りました。
また、成年後見制度に関する問い合わせ等に対応しました。

随時 ◇今年度新規受任 2件
3月末時点で受任中の件数 5件
うち認知症高齢者 4名（施設3名、在宅1名）
精神障がい者 1名（入院中）

◇累計受任件数 10件

随時 ◇後見業務（身上監護と財産管理）
福祉サービスの契約、支払い、金融機関手続き、
定期面会、関係者との情報共有や調整
通院同行（状況により）、緊急時対応
その他、必要な手続き等

随時 ◇相談、問合せへの対応

<昨年度>
累計受任
件数
8件

8件

法人後見事業実施社協連絡会へ出席
 県内の社協間で事業の取り組み状況の共有と報告、意見交換等のため開催される実施社協連絡会に出席しました。

【67 法人後見事業審査会の開催】
 法人後見事業審査会を開催し、業務の公平性及び専門性を確保し、事業の適正化を図りました。

6 / 2 1 ◇受任ケースの状況報告等
 新規受任の適否について

3 / 2 2 ◇受任ケースの状況報告等

③ 権利擁護啓発事業

【68 権利擁護に係る専門職のネットワークづくり】
 福祉関係機関の連携と権利擁護について考える場として、寒川町権利擁護ネットワーク連絡会の開催等、擁護の意識高揚に繋がる事業を行う予定です。

12/14 ◇第1回 寒川町権利擁護ネットワーク連絡会
 内容：「その人らしく」と「お金」のこと～本人の意思を尊重しながら～
 権利擁護について学びあい、情報交換。
 参加者 17名
 社協、包括、行政、病院相談員、訪問介護事業所、障がい者相談支援事業所、ケアマネ等多職種が参加

1/26 ◇第2回 寒川町権利擁護ネットワーク連絡会
 内容：「その人らしく」と「お金」のこと～家族と離れて暮らす人たち～
 権利擁護について学びあい、情報交換。
 参加者 16名
 社協、包括、行政、病院相談員、訪問介護事業所、障がい者相談支援事業所、ケアマネ等多職種が参加

【69 成年後見講座】
 成年後見制度をより多くの方に知ってもらうため講座を開催します。

11 / 2 5 ◇安心して暮らせるように、障がいのある子の親なきあとの準備を
 講師：親なきあと相談室 渡辺 伸 氏
 参加者 35名

【70 成年後見相談の開催】

<昨年度>

第1回

21名

第2回

23名

<昨年度>

参加者17名

<p>専門家による成年後見制度に関する相談を行い、制度の利用推進に努めました。</p> <p>毎月第1金曜日（祝日の場合は翌週金曜日）</p> <p style="padding-left: 40px;">◇相談員：コスモス成年後見サポートセンター会員 相談件数 11件</p> <p>【成年後見制度中核機関設置検討に向けた取り組み】</p> <p>8/14 ◇本会が、現状から想定できる範囲の中核機関の取り組みを担当職員と事務局長で打合せ。 その内容を町福祉課へ提出し、今後の検討材料にしてもらう。</p> <p>9/7 ◇藤沢簡易裁判所に横浜家庭裁判所出張所の併設を求める協議会総会</p>	<p><昨年度> 14件</p> <p><昨年度></p>
---	---

(5) ボランティア事業

① ボランティアセンター運営事業

<p>3階の「ボランティア活動室」と「地域活動応援ルーム」を中心にボランティアの皆様が活躍できるよう調整を行いました。</p> <p>今年度は試行的に「きんじろうルーム」を開設し、夏休み期間中の子どもの学習支援と居場所づくりを実施しました。</p> <p>【7.1 ボランティア活動の相談・斡旋・情報提供】</p> <p>個人や施設、団体からの相談や依頼を随時対応しました。</p> <p>能登半島地震の影響により、災害ボランティアについてや保険の加入についての相談もありました。</p> <p>(ボランティア相談)</p> <p style="padding-left: 20px;">ボランティアに関わる新規の相談 (送迎・サポート・その他の心配ごと相談 など) 51件</p> <p>(個人登録ボランティア)</p> <p>ボランティアの登録、派遣調整</p> <p>随 時 ◇ボランティア登録 138名 うち新規登録 25名</p> <p>随 時 ◇ボランティア派遣 (のべ活動人数) 福祉有償運送事業の送迎ボランティア 291名</p>	<p><昨年度> 51件</p> <p><昨年度> 141名 22名 236名</p>
---	---

保育	63名	35名
障がい者支援、イベント支援等	188名	71名
施設手伝い	1190名	1,520名
ふれあい・いきいきサロン	123名	122名
合計	1855名	1,984名

(きんじろうルームの開室)

夏休み期間中 子どもたちの居場所づくり、ボランティアの活動の場
全7日間 の提供を目的に、夏休みの宿題のための自習室を
開室しました。対象は小学生。
毎回、ボランティア3～4名に子どもたちの見守り
として一緒に過ごしていただきました。
また町のジュニアリーダーズクラブにちょっとした
レクリエーション指導をお願いし、子ども同士の
交流も行いました。

◇参加子ども人数 14名

◇活動ボランティア数(延べ) 20名

(緑綬褒章)

ボランティアグループの緑綬褒章受章に向け、推薦
し、提出用の資料作成支援を行いました。

結果、2団体が受賞されました。

- 11/13 ◇令和5年度 褒章伝達式・叙勲
すいせん1 (社会福祉施設等奉仕団体)
手話サークル菊和会 (手話奉仕団体)

【72ボランティアセンター活動PR】

ボランティア活動の情報発信、組織内の連携強化を図るとともに、より町
民に身近なボランティア窓口として、運営を行いました。

SNS等の情報発信、登録者状況

随時	◇LINE 友だち登録者数	161名	<昨年度> 153名
	LINE 子育てサロン 友だち登録者数	62名	なし
	LINE きんじろうルーム専用アカウント新規取得		
	LINE 地域活動応援ルーム専用アカウント新規取得		
	◇X (Twitter) フォロワー数	166名	153名

- 随時 ◇ボランティアセンタースタッフ会議(月1回)
◇ボランティア関連事業のパンフレットの作

<p>成、センター周辺の情報コーナー整備（随時）</p> <p>◇LINEによる登録ボランティアへの連絡、子サロン参加申込利用</p> <p>◇ホームページによる情報提供 （スマホ対応、X(Twitter)埋め込み）</p> <p>【73 ボランティア活動室・機材の貸出】</p> <p>ボランティアグループ活動支援を目的に活動室・3階相談室の貸し出しを行いました。</p> <table border="0"> <tr> <td>随 時</td> <td>◇活動室</td> <td>301件</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;"><昨年度> 281件 37件</td> </tr> <tr> <td></td> <td>◇3階相談室</td> <td>61件</td> </tr> </table> <p>（主な利用団体）</p> <p>麦笛の会、グループあい、ピーターパンクラブ、さむかわcom、赤十字奉仕団、かたらいの会、サロンハートぽっぽ、寒川町ボランティア連絡協議会 等</p>	随 時	◇活動室	301件	<昨年度> 281件 37件		◇3階相談室	61件	
随 時	◇活動室	301件	<昨年度> 281件 37件					
	◇3階相談室	61件						
② ボランティア講座事業								
<p>【74 各種ボランティア講座、出前講座の開催】</p> <p>町内の福祉のボランティア活動について知ってもらうことを目的にボランティア学びあい講座を開催しました。</p> <p>講座開催においては、多くのボランティアグループ・個人ボランティアのみなさんにご協力をいただきました。</p> <p>7/31 ◇ボランティア体験会開催（子ども向け講座）</p> <p>福祉のボランティア活動を知ってもらうことを目的として、小学生・中学生・高校生を対象としたボランティア体験会を実施しました。</p> <p>以前から要望のあった手話体験の時間の延長を加味し、今年は手話の時間を長くとれるようスケジュールの見直しを行いました。</p> <p>この活動は、福祉教育事業による学校での参加した生徒の意識が向上、福祉作文での取り組み姿勢、ボランティアグループへの加入など、大きな影響があると言えます。</p> <table border="0"> <tr> <td>体験参加者</td> <td>55名</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;"><昨年度> 60名 6団体 6名</td> </tr> <tr> <td>ボランティア</td> <td>5団体（48名）</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>10名</td> </tr> </table>	体験参加者	55名	<昨年度> 60名 6団体 6名	ボランティア	5団体（48名）	個人	10名	
体験参加者	55名	<昨年度> 60名 6団体 6名						
ボランティア	5団体（48名）							
個人	10名							

10/26	◇ボランティア学びあい講座開催（大人向け講座）		
10/31	今年は日数を減らし、一日の時間を長くした講座を		
11/2	開催しました。		
の3日間	受講申し込み	16名	9名
	修了証授与	6名	7名
	受講者のうち新規個人ボランティア登録	5名	4名

③ ボランティア活動支援事業

【75 ボランティア交流会の開催】			
5/29	◇ポッチャ体験会		
	8チームに分かれてポッチャで対戦をしました。		
	ほとんどの方が初めての体験でしたが、チームの方と声を掛け合って楽しく試合をしていました。		
	ポッチャのセットは県スポーツ局スポーツセンターで無償でレンタルできました。		
	参加者	20名	<昨年度> 28名 (運動会)
12/5	◇革細工体験（冬の交流会）		
	ボランティアの方を講師として、革細工の体験をおこないました。		
	参加者	26名	18名 (ピラティス)
【76 個人登録ボランティア・サポーター意向調査の実施】			
	2月から3月にかけて、次年度の活動に対する意向調査を行いました。なお、今回からGoogleフォームを利用した意向調査のデジタル化、返信用封筒の着払い対応を試験的に導入しました。		
	Googleフォームでの返信は約2割、郵送料は約3000円の削減となりましたが、オンライン受付をしたデータの管理等についての課題が残りました。		
【77 ボランティア活動保険等の加入受付】			
	安心してボランティア活動を行っていただくための活動保険の受付を行いました。		<昨年度> (全体)
随時	基本タイプ	533名	573名
	天災タイプ	103名	116名
【78 ボランティアグループ立上げ支援・助成】			
	新規立ち上げ継続支援中	2件	

<p>昨年度に比べ全体の延べ活動回数は3割ほど増え、合計申請ポイント数も170個増えました。</p> <p>◇延べ活動回数 803回</p> <p>◇説明会開催 3/7 3名参加</p> <p>◇事業登録者 15名</p> <p>◇活動者紹介 19回</p> <p>◇交流会開催 2回</p>	<p><昨年度></p> <p>596回</p> <p>1回</p> <p>15名</p> <p>5名</p> <p>2回</p>
--	---

⑥ 災害ボランティアセンター事業

<p>【8 2 災害ボランティアセンター設置・運営訓練】</p> <p>さむかわ災害ボランティアネットワーク、町総務課と連携し、寒川町災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を予定していましたが、中止となりました。</p> <p>◇町総合防災訓練に参加予定 中止</p> <p>令和6年能登半島地震での被災による石川県社会福祉協議会からの要請により、中能登町災害ボランティアセンターへの職員派遣を行いました。</p> <p>◇職員1名 派遣先：中能登町災害ボランティアセンター</p> <p>◇2/28～3/5 内活動日5日間</p> <p>【8 3 さむかわ災害ボランティアネットワークや関係団体との連携】</p> <p>さむかわ災害ボランティアICT活用での災害支援について情報交換を行いました。</p> <p>3/7 ◇研修「災害ボランティアセンター ICTの運用」参加 他、複数回のオンライン研修参加</p> <p>【8 4 災害対策マニュアルの作成、常時見直し】</p> <p>町関係部局との情報の共有を行いました。</p> <p>◇災害時の事業継続計画（BCP）作成途中</p> <p>【8 5 被災地災害ボランティア情報の提供】</p> <p>4月 ホームページ上にて災害情報のページを作成 随時 Xにて情報提供</p>	<p><昨年度></p> <p>中止</p>
---	------------------------------

⑦ ボランティア連絡協議会事業

<p>【8 6 寒川町ボランティア連絡協議会支援】</p> <p>別記関係団体支援のとおり実施</p>	
--	--

(6) 福祉有償運送事業

① 福祉有償運送

② 駐車場運営事業	<p>【102年始駐車場運営】 公共施設の一部を借用し、年始参拝客向けの駐車場運営を実施し、福祉事業に活用するための財源確保を図ります。</p> <p>1/1～3 ◇(仮称)健康福祉総合センター用地 1,681,000円</p> <p>1/1～3 ◇健康管理センター 897,000円</p>	<p><昨年度> 1,215,000円</p> <p>961,500円</p>
V 指定管理事業		
(1) 健康管理センター事業		
① 健康管理センター指定管理事業		
<p>【指定管理申請】 指定管理者の指定申請を行い、9/22プレゼンテーション審査を受け、令和6年度の指定管理を受託しました。</p> <p>【103運営管理】 ※別紙</p> <p>【104維持管理】 ※別紙</p> <p>【105自主事業(みんなの健康セミナー)】 健康管理センター指定管理事業者として町民の健康維持・増進を目的に健康に関する事業を開催 R5 10/5・12・19 やさしいボディコンディショニング[ピラティスの動きで体幹を整えよう]延べ36名</p> <p>【106避難訓練の実施】 寒川町健康管理センター防災訓練 ◇大規模地震を想定してR6 3/11 実施 職員8名 施設利用者2名</p> <p>【107利用者満足度アンケートの実施】 アンケートのR5 11/15～R6 1/15実施 回収140名(男性32名 女性108名)</p>	<p><昨年度> 延べ 1回目 34名 2回目 37名</p> <p><昨年度> 職員10名 利用者4名</p> <p><昨年度> 132名</p>	

関係団体事務事業報告

ボランティア連絡協議会 (通称：ボラ連)

- 5 / 1 3 ◇総会 = 令和 4 年度決算、令和 5 年度予算の承認
- 7 / 6 ◇第1回委員会 = 今年度の活動について他
 ◇広報委員会 = 広報活動について他
 ◇研修委員会 = 会員研修会の内容について
- 9 / 7 ◇第2回委員会 = ふれあい福祉フェスティバルについて他
 ◇研修委員会 = 会員研修会企画会議
- 10 / 7 ◇第14回ふれあい福祉フェスティバル参加
- 10 / 2 5 ◇第3回委員会 = ふれあい福祉フェスティバルについて他
 ◇広報委員会 = 広報紙について
- 11 / 1 7 ◇研修委員会 = 研修会「ケアマネ会との交流研修会」
1 / 2 4 ◇第4回委員会 = 研修会について他
 ◇広報委員会 = 広報紙について
 ◇研修委員会 = 会員研修会企画会議
- 2 / 1 3 ◇研修委員会 = 研修会「ボッチャ体験会」
- 3 / 2 7 ◇第5回委員会 = 総会について他
 ◇広報委員会 = 広報紙について / 「ボランティアほほえみ」発行
 ◇マスコットキャラクターの名前を決定 「ボラリン」

随時：LINEを使った情報提供、報告、打ち合わせ
 対面による打合せ
 資料作成

共同募金会寒川町支会 (通称：共募)

ポストコロナ禍での募金運動となったが、例年通り、自治会への募金の依頼を行った。
街頭募金は、今年度は寒川駅とアメリカ三和だけではなく、宮山駅、倉見駅でも行い規模を拡大した。また、寒川町障害者事業所連絡会に依頼し、4年ぶりに福祉事業所職員、利用者等にボランティアのご協力をいただいた。また、社協さむかわに実施予定日を掲載した影響か、募金を袋に入れて持ってくる方もおられました。

職域募金は、役場の中庭でお昼休みの時間に合わせ40分間、職員のみで募金活動を行った。
第14回寒川町ふれあい福祉フェスティバルの会場内でイベント募金を行った。

ベルマーレの試合会場でのイベント募金に参加した。

健康管理センター内に「赤い羽根共同募金」特設コーナーをつくり、募金運動期間中、いつでも募金ができるようにした。

募金箱を町内の関係機関、スーパー等に全6か所設置した。

湘南ユナイテッドBCの試合会場でのイベント募金に参加した。

4 / 2 7 ◇県共同募金会 支会事務担当者会議 出席（県社会福祉センター）

5月～ ◇県共同募金会 理事会へ寒川町支会長（社協会長）出席

8 / 1 ◇県共同募金会 支会事務担当者会議 出席（県社会福祉センター）

9 / 1 5 ◇自治連にて共同募金運動（赤い羽根募金、年末たすけあい募金）の依頼

1 0 / 1 ～ ◇共同募金運動スタート

1 0 / 2 ～ ◇職域募金 = 47,952円

●赤い羽根募金

町役場及び町関係施設（職員等）およびJ A より 合計 47,952円

1 0 / 2 ◇街頭募金 = 11,509円

●赤い羽根募金

アメリカ三和寒川店 4,593円

寒川駅北口 2,573円

寒川駅南口 2,017円

宮山駅 332円

倉見駅 1,994円

《協力者》寒川町障害者事業所連絡会

◇戸別募金 = 5,386,200円

●赤い羽根募金

目標額：2,868,580円 実績額：2,600,970円

●年末たすけあい募金

目標額：3,259,750円 実績額：2,785,230円

なお、年末たすけあい募金は、寄付金の募集は共同募金会

市区町村支会が行い、配分金による事業は、市区町村社会福祉協議会
が中心となって実施します。

上記【6 2 年末たすけあい募金の配分】 に記載。

10/1～ ◇学校募金 = 91,643円

●赤い羽根募金

町内小中学校へ募金箱設置（約1ヶ月間） 91,643円

◇イベント募金 = 79,175円

●赤い羽根募金

湘南ベルマーレ イベント募金 54,296円

※今年度は、湘南ベルマーレ物品オークションの配分はありませんでした。

第14回寒川町ふれあい福祉フェスティバル 21,264円

湘南ユナイテッドBC イベント募金 3,615円

◇その他の募金 = 40,183円

●赤い羽根募金

社協内募金箱設置（約3ヶ月間） 6,747円

特設コーナーガチャガチャ 2,600円

町内関係施設7か所へ募金箱設置（1ヶ月） 8,743円

共同募金仕様・清涼飲料水等自動販売機 17,089円

預金利息 2円

●年末たすけあい募金

静雅書道会 5,000円

預金利息 2円

共同募金支会事務局長合同会議

◇自治連にて共同募金運動（赤い羽根募金、年末たすけあい募金）のお礼

◇災害義援金の受付 = 社協窓口募金箱 87,674円

中央共同募金会による「令和6年能登半島地震災害義援金」に送金した。

福祉団体協議会

(通称：福団協)

- | | |
|---------|---|
| 4 / 1 5 | ◇大相撲藤沢場所 観覧 |
| 4 / 2 2 | ◇総会 = 令和5年度決算報告、令和6年度事業計画 他 |
| 5 / 1 1 | ◇役員会 |
| 6 / 1 7 | ◇出前講座「防災のはなし」（福祉活動センターにて） |
| 7 / 6 | ◇役員会 |
| 7 / 6 | ◇要望書活動「寒川町障がい者福祉計画ヒアリング・行政懇談会」 |
| 9 / 7 | ◇役員会 |
| 9 / 9 | ◇バス研修（静岡方面 三島スカイウォーク他）
（バス代等は年末たすけあい募金配分金を受ける） |

- 10/7 ◇寒川町ふれあい福祉フェスティバル 参加
- 11/2 ◇役員会
- 11/11 ◇団体企画研修＝「今さら聞けないマナー講座」
担当：茅ヶ崎寒川地区自閉症児・者親の会
- 12/1～
1/31 ◇障害者週間から年明け1月末まで 福団協の活動紹介展示
町健康管理センター1階廊下の壁に、各団体からの
作品、普及啓発パンフレット等を展示。
- 1/11 ◇役員会
- 1/26 ◇映画会
「スペシャルズ！政府が潰そうとした自閉症ケア施設を守った男たちの実話」
- 3/7 ◇役員会
- 3/31 ◇広報誌「ふくだん通信」Vol.10発行 500部
- 随時 ◇町社協事業に参加協力
小中学校での福祉体験授業のサポート
- 随時 ◇会員研修、バス研修等の事業調整、打合せ
研修会、総会、役員会資料、「ふくだん通信」等の作成支援
町補助金の支援を受けるための書類の確認や町福祉課職員との
対応、連絡調整、活動紹介展示運営
他、メール、電話等での調整や連絡を行う。